

さく

**柵の中で咲くマツムシソウ**

年 組 名前

下伊那郡大鹿村と静岡市との境にある、南アルプス三伏峠近くのお花畑で、マツムシソウの花が咲き、秋の訪れを告げています。お花畑は柵に囲まれています。記事を読んでみましょう。

- ①例年ならこの時季、三伏峠小屋前には、どんな花が咲いているのですか。
- ②三伏峠小屋は、新型コロナウイルスの影響で昨季の営業を休んでいました。今夏、小屋前に花が見当たらない理由を、支配人の小笠原三幸さんは、何と話していますか。
- ③小笠原さんが小屋の運営を担うようになったころ、小屋から近いお花畑では、徐々に花が姿を消していきました。お花畑は、どんな様子になっていましたか。
- ④静岡県と南ア高山植物保護ボランティアネットワークは、植物を守るために、どんな対策を取ったのですか。
- ⑤記事を読み、三伏峠付近でこれまでのようにさまざまな花が咲くようになるには、どうしたらいいと思いますか。友達と話し合ってみましょう。

# 柵の中で咲く マツムシソウ



大鹿・静岡市境の南ア三伏峠近く



ニホンジカの食害に遭わぬよう柵に守られた  
お花畑で、紫色の花を咲かせたマツムシソウ  
〓9日午前11時59分、南アルプス三伏峠近く

## 高山植物 鹿による食害広がる



ニホンジカに茎を食べられたバイケイソウ  
を手にする小笠原三幸さん。ほとんどの株  
が被害に遭っている〓10日午前6時47分

南アルプスの三伏峠（下伊那郡大鹿村・静岡市境、2580㍎）近くにあるお花畑でマツムシソウが紫色の花を付け、一足早い秋の訪れを告げている。ニホンジカによる食害に遭わぬよう柵に囲まれた場所では花々は風に揺れる。その一方で、柵の外では新たな

食害が広がっており、山小屋関係者らを悩ませている。例年ならこの時季、三伏峠小屋前にはキンシソウやゲンナイフウロ、リンドウなどが花を咲かせる。ところが今夏は花が見当たらない。新型コロナウイルスの影響で昨季の営業を休んでいるうちに「鹿に食べられてしまったようです」と支配人の小笠原三幸さん（78）上伊那郡南箕輪村。小屋前の高山植物で登山客を迎えるのが恒例だったことから「ショックですね」と肩を落とした。

鹿による食害が進んでいる時期だった。かつては7月にはシナノキンバイの黄色の花が一面に広がり、8月にはマツムシソウやミヤマシシウドなどが続いたが、徐々に花が姿を消していった。お花畑はまるで「牧草地」のようになり、一部は地肌が露出するほどになったという。

2007、08年には静岡県と南ア高山植物保護ボランティアネットワークが高さ約1・8㍎の金網の柵を計400㍎余に設置。ここから植物は回復に向かい、シナノキンバイやマツムシソウなどが広がる景色が戻ってきた。

ただ、柵の外では小屋の周囲以外でも食害は続いている。小笠原さんによると、今夏はお花畑のすぐ下から水場へと広範囲に群生するバイケイソウに被害が目立つ。「これまでも一部は食べられていたが、今夏はほぼ全ての株がやられてしまった。初めての経験です」。トリカブトの花も減っているといい「鹿の食害はまた新たな段階にきているように感じます」と表情を陰しくした。

（編集委員 藤森秀彦）

（2021年8月18日朝刊・第三社会面）

さく

## 柵の中で咲くマツムシソウ

## 解答例

年 組 名前

下伊那郡大鹿村と静岡市との境にある、南アルプス三伏峠近くのお花畑で、マツムシソウの花が咲き、秋の訪れを告げています。お花畑は柵に囲まれています。記事を読んでみましょう。

①例年ならこの時季、三伏峠小屋前には、どんな花が咲いているのですか。

【解答】 キリンソウやグンナイフウロ、リンドウなど

②三伏峠小屋は、新型コロナウイルスの影響で昨季の営業を休んでいました。今夏、小屋前に花が見当たらない理由を、支配人の小笠原三幸さんは、何と話していますか。

【解答】 鹿に食べられてしまったようです

③小笠原さんが小屋の運営を担うようになったころ、小屋から近いお花畑では、徐々に花が姿を消していきました。お花畑は、どんな様子になっていましたか。

【解答】 まるで「牧草地」のようになり、一部は地肌が露出するほどになった

④静岡県と南ア高山植物保護ボランティアネットワークは、植物を守るために、どんな対策を取ったのですか。

【解答】 高さ約1.8mの金網の柵を計400m余に設置した

⑤記事を読み、三伏峠付近でこれまでのようにさまざまな花が咲くようになるには、どうしたらいいと思いますか。友達と話し合ってみましょう。

【解答】 略